

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 23 日

事業所名 KIDSサポートスターシップ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			全体活動と個別の場を分けて、楽しむ事と学ぶ事のメリハリをつけている	
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		2	賃貸物件の為、大きな改装は出来ないが安全に過ごせるように配慮している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				状況に応じて業務改善を進めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				評価を元にミーティングを実施。課題の把握を行い、業務改善に繋げる
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				事業所内の自己評価を行い、ホームページに掲載し、情報公開をしている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7		検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				研修は積極的に、参加をしている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			日頃から課題分析を行い計画を作成。	モニタリングや担当者会議だけではなく、日頃から情報共有とニーズや課題を拾い上げていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			翌月の活動内容について事前に話し合い計画に取り入れている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			季節に沿った活動計画や新しい用具の購入などで固定化しないようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7				子供達だけではなく、保護者の勤務状況も確認しながら利用日や支援内容を検討している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			常に目視できる場所へホワイトボードを設置し活用しながら口頭でも確認している	朝のミーティングと記録ノートの確認の徹底を継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			終了後には、振り返りを行い情報共有をしている。休みの職員は記録ノートにて確認している	連絡事項や振り返りの確認の徹底を継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			些細なことでも記録するようにしている	第三者が見ても分かるような文章力を身につけ入力できるようにしていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				定期的なモニタリングの実施は継続しながら見直しの必要性を確認していく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			日常関わっており状態の把握が出来る職員が参加できるように勤務時間等の調整をしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7				今現在、医療的ケアが必要な子供はいないが、利用している子供達の主治医や医療機関の把握と連絡体制は出来ている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7				定期モニタリングを実施。情報共有は出来ている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7			学校卒業後の移行者はない。今後移行があれば情報提供を行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		7			研修会への参加は増やしていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			7		交流できる機会を増やしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				些細なことでも伝え合えるように更に、信頼関係を深めていけるように支援していく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7				検討していく	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			専門用語を使用せず分かりやすく説明している	保護者への丁寧な説明を心がけ同意を得ていきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			送迎時や会議の場で話しやすいように声掛けしている	日頃からのコミュニケーションを大切に考え支援していきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			保護者も参加できる計画を立てて行事を通し交流ができるようにしている	今後も保護者同士が交流、連携できるような環境づくりに努めます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情があれば、報告書を作成し職員間情報共有をしている	内容の確認と保護者への連絡を迅速に出来るように適切な対応をしていきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			文書だけでなく、口頭での発信も意識している	ホームページへの活動発信を継続しながら連絡体制なども強化していきます
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			7		コロナやインフルの感染状況を見ながら地域住民との交流なども検討していく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				職員研修や訓練の実施、マニュアルの整備は出来ているが保護者への周知を行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				年2回の訓練を実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			勤務調整し全員が、参加出来るようにしている	日々の支援が虐待になっていないか意識しながら対応していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		7			拘束児童なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		7			現在、アレルギーのある子はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			発生時、当日で作成し共有している	大きな事故に繋がらないように、日頃からヒヤリハットとして気づけるようにしていく